



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場会社名 株式会社C&Fロジホールディングス
(株式会社ヒューテクノオリン) 上場取引所 東
コード番号 9099 URL <http://www.cflogi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林原 国雄
問合せ先責任者 株式会社ヒューテクノオリン
(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 坂内 茂昭 TEL 03-5291-8111
四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 平成27年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,682	3.9	862	19.0	837	14.9	429	42.2
27年3月期第2四半期	19,905	4.7	724	△21.5	729	△22.5	302	△43.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 598百万円 (79.9%) 27年3月期第2四半期 332百万円 (△41.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	41.35	41.27
27年3月期第2四半期	29.09	28.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	40,108	19,157	46.8	1,806.03
27年3月期	40,915	18,743	44.8	1,763.03

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 18,764百万円 27年3月期 18,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	14.00	—	14.0	28.00
28年3月期	—	14.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成28年3月期連結業績予想

(注) 株式会社C&Fロジホールディングスの平成28年3月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、株式会社C&Fロジホールディングスの「平成28年3月期の通期業績予想及び配当予想について」（平成27年11月10日発表）をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	10,389,615株	27年3月期	10,438,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	一株	27年3月期	48,385株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	10,389,615株	27年3月期2Q	10,389,636株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは実施していません。

当社は、平成27年9月28日をもちまして上場廃止となっております。

なお、関東財務局より有価証券報告書の提出を要しない旨の承認（金融商品取引法施行令（昭和40年政令第321号）第4条第2項規定）を受けており、四半期報告書の提出の予定はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策などにより、企業収益や設備投資が堅調に推移し、また雇用や所得環境も改善されるなど緩やかながらも景気回復の基調をたどりました。

一方、円安による輸入原材料の高騰、欧州の一部や中国経済にみられる景気の失速懸念など、国内の本格的な景気回復には依然として、懸念材料を抱えたまま推移いたしました。

当社グループが主軸をおく低温食品物流業界におきましては、社会構造やライフスタイルの変化などを背景に、冷凍・冷蔵食品の需要が増加しているものの、倉庫内オペレーターやドライバーの確保、車両の調達などのコスト増への対応など厳しい経営環境のまま推移しました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の営業収益におきましては、主に首都圏を中心とした取扱物量の増加や、一部の寄託者との受託料金改定などにより増収を確保することができました。

利益につきましては、営業収益の増加や軽油単価の下落などが奏功し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期比で増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は206億8千2百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は8億6千2百万円（前年同期比19.0%増）、経常利益は8億3千7百万円（前年同期比14.9%増）、となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券の評価損や役員退職慰労金引当金繰入額などを特別損失として計上した影響はありましたが、4億2千9百万円（前年同期比42.2%増）となりました。

(セグメントの概況)

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

①DC事業（保管在庫型物流事業）

営業収益は首都圏を中心とした取扱物量の増加や、一部寄託者との受託料金改定などにより、営業収益は151億3千1百万円（前年同期比2.8%増）となりました。セグメント利益につきましては、営業収益の増加や軽油単価が前年同期に比べ下落したことにより17億5千7百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

②TC事業（通過型センター事業）

営業収益は取扱物量の増加により50億5千1百万円（前年同期比9.1%増）となりました。セグメント利益につきましては、営業収益の増加が奏功したことなどにより3億2千3百万円（前年同期比50.6%増）となりました。

③その他

営業収益は5億5千6百万円（前年同期比7.9%減）、セグメント利益は7千9百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

なお、上記につきましては、各セグメントに係る全社費用12億9千8百万円は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

資産、負債および純資産の状況につきましては、資産の部において現預金などの減少により、当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、401億8百万円（前連結会計年度末比8億6百万円減）となりました。負債の部においては、設備支払手形などの減少により、209億5千万円（前連結会計年度末比12億2千万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加などにより、191億5千7百万円（前連結会計年度末比4億1千4百万円増）となりました。

以上の結果、自己資本比率は46.8%（前連結会計年度末比2.0ポイント増）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は22億6千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億2千2百万円の減少となりました。

①「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少等により、12億1百万円(前年同期比5.2%の収入減)の収入となりました。

②「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、14億6千万円(前年同期比4.7%の使用減)の使用となりました。

③「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の支払い等により、7億6千2百万円(前年同期比1968.1%の使用増)の使用となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

株式会社C & F ロジホールディングスの平成28年3月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、株式会社C & F ロジホールディングスの「平成28年3月期の通期業績予想及び配当予想について」(平成27年11月10日発表)をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,595,436	2,573,136
営業未収入金	3,794,329	3,924,096
繰延税金資産	224,536	314,710
その他	500,706	586,128
貸倒引当金	△442	△419
流動資産合計	8,114,567	7,397,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,192,499	6,085,688
機械装置及び運搬具（純額）	1,258,567	1,234,059
土地	9,612,081	9,612,081
リース資産（純額）	9,297,238	9,271,721
建設仮勘定	3,679,825	4,109,246
その他（純額）	6,930	8,684
有形固定資産合計	30,047,143	30,321,481
無形固定資産	82,708	87,702
投資その他の資産		
投資有価証券	999,711	1,217,994
長期貸付金	530,000	—
繰延税金資産	491,290	428,648
その他	662,221	667,489
貸倒引当金	△12,307	△12,307
投資その他の資産合計	2,670,915	2,301,825
固定資産合計	32,800,767	32,711,010
資産合計	40,915,334	40,108,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,657,098	1,567,893
短期借入金	1,802,000	2,102,000
1年内償還予定の社債	248,000	248,000
リース債務	1,215,391	1,244,276
未払法人税等	471,699	463,965
賞与引当金	411,000	593,000
役員賞与引当金	27,850	8,850
資産除去債務	—	11,985
設備関係支払手形	1,905,300	506,811
その他	1,603,530	1,585,176
流動負債合計	9,341,869	8,331,959
固定負債		
社債	372,000	248,000
長期借入金	1,378,000	1,252,000
リース債務	8,625,496	8,578,090
退職給付に係る負債	1,468,644	1,496,095
役員退職慰労引当金	—	114,549
資産除去債務	390,986	393,537
再評価に係る繰延税金負債	425,924	425,924
その他	168,615	110,576
固定負債合計	12,829,667	12,618,775
負債合計	22,171,536	20,950,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,560	1,217,560
資本剰余金	1,392,060	1,392,060
利益剰余金	16,045,993	16,288,758
自己株式	△41,419	—
株主資本合計	18,614,193	18,898,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114,012	269,456
土地再評価差額金	△341,252	△341,252
退職給付に係る調整累計額	△69,760	△62,575
その他の包括利益累計額合計	△297,000	△134,371
新株予約権	36,990	—
非支配株主持分	389,614	393,922
純資産合計	18,743,797	19,157,928
負債純資産合計	40,915,334	40,108,663

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業収益	19,905,978	20,682,044
営業原価	18,091,152	18,521,576
営業総利益	1,814,825	2,160,467
販売費及び一般管理費	1,090,460	1,298,298
営業利益	724,365	862,168
営業外収益		
受取利息	7,814	4,943
受取配当金	15,690	15,839
持分法による投資利益	12,342	—
その他	70,123	66,700
営業外収益合計	105,970	87,484
営業外費用		
支払利息	95,060	95,714
その他	5,999	16,269
営業外費用合計	101,060	111,984
経常利益	729,275	837,668
特別利益		
固定資産売却益	179	178
関係会社株式売却益	18,770	—
新株予約権戻入益	—	36,990
特別利益合計	18,950	37,168
特別損失		
固定資産除売却損	237	5,798
投資有価証券評価損	—	14,999
役員退職慰労引当金繰入額	—	97,633
特別損失合計	237	118,431
税金等調整前四半期純利益	747,989	756,406
法人税、住民税及び事業税	495,185	424,804
法人税等調整額	△59,045	△104,445
法人税等合計	436,140	320,359
四半期純利益	311,848	436,046
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	302,219	429,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,629	6,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,109	155,443
退職給付に係る調整額	9,884	7,185
持分法適用会社に対する持分相当額	5	—
その他の包括利益合計	20,999	162,629
四半期包括利益	332,848	598,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,219	592,268
非支配株主に係る四半期包括利益	9,629	6,407

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	747,989	756,406
減価償却費	1,041,130	1,047,511
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	102,768	182,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	48,124	34,636
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,050	△19,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△308	114,549
受取利息及び受取配当金	△23,504	△20,783
支払利息	95,060	95,714
持分法による投資損益 (△は益)	△12,342	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△18,770	—
新株予約権戻入益	—	△36,990
固定資産除売却損益 (△は益)	57	5,620
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	14,999
売上債権の増減額 (△は増加)	△176,927	△129,766
仕入債務の増減額 (△は減少)	△43,402	△89,205
その他	165,388	△249,414
小計	1,911,216	1,706,255
利息及び配当金の受取額	28,991	20,802
利息の支払額	△95,744	△96,581
法人税等の支払額	△576,746	△429,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,267,716	1,201,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,950,288	△1,987,454
有形固定資産の売却による収入	180	200
無形固定資産の取得による支出	△18,389	△23,207
投資有価証券の取得による支出	△4,164	△4,288
関係会社株式の売却による収入	462,000	—
貸付金の回収による収入	15,000	560,000
その他	13,095	△6,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,532,566	△1,460,997
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△250,000	△250,000
配当金の支払額	△145,519	△145,202
非支配株主への配当金の支払額	△2,100	△2,100
リース債務の返済による支出	△639,256	△665,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,876	△762,639
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△301,726	△1,022,300
現金及び現金同等物の期首残高	2,261,289	3,285,436
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,959,562	2,263,136

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	D C 事業	T C 事業	計		
営業収益					
①外部顧客に対する営業収益	14,702,079	4,599,035	19,301,115	604,862	19,905,978
②セグメント間の内部営業収益又は振替高	20,277	30,433	50,711	100	50,811
計	14,722,357	4,629,469	19,351,826	604,962	19,956,789
セグメント利益	1,505,913	214,767	1,720,681	94,144	1,814,825

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント 計	1,720,681
「その他」の区分の利益	94,144
全社費用(注)	△1,090,460
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	724,365

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	DC事業	TC事業	計		
営業収益					
①外部顧客に対する営業収益	15,107,978	5,017,258	20,125,237	556,806	20,682,044
②セグメント間の内部営業収益又は振替高	23,605	34,658	58,264	100	58,364
計	15,131,584	5,051,917	20,183,502	556,906	20,740,408
セグメント利益	1,757,644	323,468	2,081,113	79,353	2,160,467

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント 計	2,081,113
「その他」の区分の利益	79,353
全社費用(注)	△1,298,298
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	862,168

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年9月7日に開催の取締役会決議に基づき、平成27年9月30日付で、自己株式48,385株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ41,419千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が16,288,758千円、自己株式が零となっております。

(重要な後発事象)

平成27年6月26日開催の定時株主総会において、当社及び名糖運輸株式会社が共同して株式移転により完全親会社「株式会社C & F ロジホールディングス」を設立することが承認可決され、平成27年10月1日に同社が設立されました。